

# 分科会10

## 「イトコサガシ」から始まるコミュニケーションワークショップ

冠地 情（東京都成人発達障害当事者会イトコサガシ 代表）

山田裕一（障害学生パートナーシップネットワーク付属熊本県発達障害当事者会Little bit 顧問/NPO 法人宮崎こころリンク 顧問/ 高機能自閉症・アスペルガー当事者女性の会カモミール 顧問ソーシャルワーカー/ 東京都成人発達障害当事者会イトコサガシWS コーディネーター（専門職））

### 実施したプログラム

- ・イトコサガシ・発達障害について
- ・キーワード自己紹介
- ・15 セカンズ
- ・マジョリティを探せ
- ・会話のワークショップ

**アンケート内容：**満足度：とても満足 28(45%) 満足 29(47%) やや不満足 4(6%) 不満足1(2%)

### 感想：

- ・試した時点で大成功という言葉がよかった。これだけで救われる感じがした。
- ・とても分かりやすかった。もっと今まで以上に会話を楽しみたいと思いました。
- ・いいところを探す習慣って社会の中で大切にされていない部分もあるけど、やれることはいっぱいあるんだなと思いました。
- ・自分と同じような生きづらさを感じる方たちと時間を共有することができたことがとても嬉しかったし、今後生きていく大きな勇気にもつながりました。
- ・相手の気持ちが分からない、空気が読めないと言われる人にとっても機会を作っていくことで、変えていくことができると思えた。
- ・イトコサガシキーワードを交えて話すことで気分が明るくなった。
- ・実際にチャレンジすることで得られることが多いのが驚きでした。
- ・初心者用のワークショップがあると聞いたので安心しました。
- ・特に印象的であった言葉が、「発達機会損失障害」でした。発達障害の特性を持つ人にコミュニケーションが苦手な人が多いのは、その特性ではなく、その特性ゆえに発達の機会が少なくなる。その機会を増やそうという視点が大切だと実感できました。
- ・スライドの最後のほうが文字が多く、頭に入りづらかったです。
- ・早口すぎて追いつこうという気持がなくなった。常にハイテンションで疲れる。
- ・最初は冠地さんが話すのを見て、勢いが強いなあと思ったのですが、進行するにつれて安心感が感じられました。

### 所感：

参加者がとても多く、座りきれないほどでした。参加者も積極的に参加して下さることが多く、会場はとても盛り上がりました。

《冠地情（東京都成人発達障害当事者会イトコサガシ 代表）》